

令和元年度（平成31年度）

飯綱町教育委員会事務の管理及び
執行状況の点検及び評価の報告書



飯綱町教育委員会

1、趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）第 26 条の規定に基づき、教育に関する課題や取り組みの方向性を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民への説明責任を果たすため、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検並びに評価（以下「点検・評価」という。）を行い教育に関し学識経験を有する者の知見を活用し、その結果に関する報告書を議会に提出し公表します。

2、点検・評価の対象

令和 2 年度の点検評価は、前年度である令和元年度（平成 31 年度）分の事業実績を対象としました。

対象範囲は、地教行法第 23 条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務をはじめ、本教育委員会が所管するすべての事業で、このうち、本教育委員会作成の「平成 31 年度飯綱町教育委員会基本方針」における「方針と目標」の具体的実施事業の中から主なものを中心に対象としています。

3、点検・評価の方法

- (1) 平成 31 年度飯綱町教育委員会基本方針に基づき実施された事業の中から主なものを対象に点検及び評価を行いました。
- (2) 教育に関して学識経験を有する外部者からの総合的な意見を知見として掲載しました。
- (3) 点検・評価の結果については、定例教育委員会において審議しました。

※ 点検・評価の基準は次のとおりです。

〈評価の基準〉

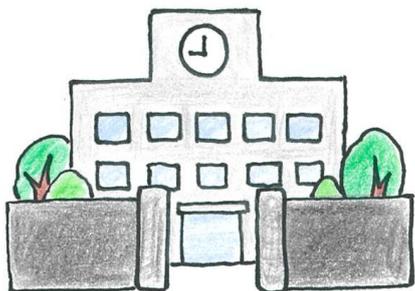
- A・・・目標以上の成果
- B・・・概ね目標の成果
- C・・・課題が残った

地方教育行政の組織及び運営に関する法律 ～抜粋～

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



方針と目標

方針1 個性を生かし共に学び合う学校教育の推進

目標 生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう

- 1 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
 - (1) 学力向上のための教育の充実
 - (2) 豊かな心と健やかな体の育成
 - (3) 学びの機会の確保
 - (4) 保小中の連携による交流学习
 - (5) 教職員の資質能力向上と働き方改革
- 2 グローバル化社会への対応
 - (1) ICTを活用した学習の推進
 - (2) 次期学習指導要領への的確な対応
- 3 ふるさとを愛する心が育つ教育の推進
 - (1) 地域とともに学びを深める
 - (2) いいづなワクワク教育プロジェクトの推進
- 4 学校・家庭・地域の連携と協働の推進
 - (1) 飯綱町コミュニティスクールの拡大と推進
 - (2) 家庭・地域とともに取り組む学びの推進

方針2 子育て・子育て環境の充実

目標 豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう

- 1 子どもが生き生きと育つ環境づくり
 - (1) 出産から乳幼児期にかけての環境づくり
 - (2) 未満児保育や障がい児保育の充実
 - (3) 子どもが読書に親しむ環境づくりの推進
 - (4) 放課後児童クラブの運営
 - (5) 児童虐待の未然防止と早期対応
- 2 楽しく子どもを育てられる環境づくり
 - (1) 子育て支援センター事業の充実
 - (2) ファミリーサポートセンター事業の充実
- 3 子育てをしている女性への支援
 - (1) 子育て世代の就労支援（ワークセンター）の充実
 - (2) 病後児保育事業による子育て支援の充実

方針3 スポーツ・芸術・文化活動の充実

目標 健全な心と体を育てよう

- 1 多様な活動機会の創出
 - (1) 住民がスポーツ活動や芸術文化活動に触れられる環境づくり
 - (2) 地域団体が企画運営するスポーツ・芸術文化活動への支援
 - (3) スポーツ施設の充実
- 2 文化の保存・継承・活用
 - (1) 食文化への理解
 - (2) 文化財の保存、継承、活用
 - (3) ふるさとを愛する心の育成

方針4 自ら学び、共に学び、自己を高める

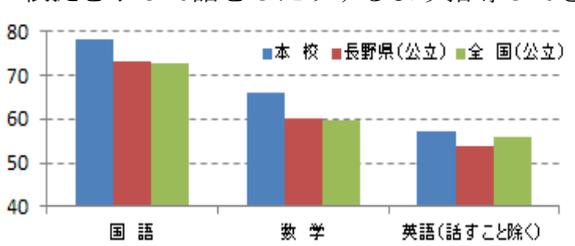
目標 学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう

- 1 多様な学習機会の創出
 - (1) 生涯学習の充実
 - (2) 生涯学習の成果を生かす機会の実現
 - (3) 町内図書館の機能充実
- 2 生涯学習拠点の充実
 - (1) 公民館活動の活性化
 - (2) 地域学習の充実



4、点検・評価の結果

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう 1 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 (1) 学力向上のための教育の充実
主な事業(活動)	①授業の3観点「ねらい、めりはり、みとどけ」(小学校) ②ドリルの時間(小学校) ③読書の時間(小学校) ④重点研究と一人1公開授業の取り組み(小学校) ⑤公開授業(中学校)
評価	①A ②A ③A ④B ⑤B
成果と課題	<p>①学習問題(この時間に考えること)を明確にした授業を行うことを意識づけることができました。</p> <p>②週日課に帯でドリルの時間を位置づけ、個に応じた課題に取り組みました。また、個別の支援の時間としても有効に利用できました。</p> <p>③お話の会やかっこう文庫の読み聞かせをしていただきながら、読書に親しみ、静かに集中する時間となりました。</p> <p>④長野上水内教育課程社会科研究協議会(台風19号水害のため中止)に向けて、地域教材を開発して、地域の人々の思いに触れる学習を展開することができました。今後も地域とそこに暮らす人々の生活を大事にした授業を各教科に広げていきます。</p> <p>⑤「表現力の向上」を全校研究テーマに据え、授業場面に仲間との関わりを位置づけたり、資料を用いて自分なりの根拠を示して話をしたりするよう指導してきました。全教科外部指導者を招聘した公開授業(延べ22回)を実施し、教員の授業改善も図ってきました。その結果、全国学力・学習状況調査においては、全教科(国語、数学、英語)で、県平均・全国平均を上回りました。</p>



【H31 全国学力・学習状況調査実施教科の正答率】

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう 1 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 (2) 豊かな心と健やかな体の育成
主な事業(活動)	<p>①あいさつ運動(小学校)</p> <p>②人権教育におけるタンザニアとの交流(小学校)</p> <p>③あいさつリレー(小学校)</p> <p>④たてわり全校体育(小学校)</p> <p>⑤体づくり運動(小学校)</p> <p>⑥道徳教科化元年(中学校)</p> <p>⑦給食だよりの発行(中学校)</p> <p>⑧安全・安心な給食の提供(学校給食係)</p>
評価	①A ②A ③B ④A ⑤B ⑥A ⑦A ⑧A
成果と課題	①毎朝、児童会代表委員会の子どもたちが玄関で、登校して来る子どもにあいさつを行っています。毎日、「あいさつ名人」を2～3名全校児童の前で発表し、あ



	<p>いさつを自ら率先する意欲を高めることができました。</p> <p>②児童会で空き缶集めを行い、タンザニア（アフリカ）へ寄付を行っています。寄付の結果を伝えたり、タンザニアの現状を知ったりすることを通して、さらに協力しようとする意欲につながっています。</p> <p>③登校時に、子どもたち同士であいさつを広げていくことができました。目が合わなかったり、声が出なかったりする児童も見受けられましたが、まずは、大人からの声かけを根気よく続けていきます。</p> <p>④異学年によるたてわり班で計画した運動に取り組みました。楽しみながらも運動量のある活動ができました。</p> <p>⑤長野県版運動プログラム推進事業や大学講師派遣事業などを利用して、正しい姿勢や動ける身体づくりの指導を全校児童が体験できました。今後は、日常化につなげていくまで意識を高めていく必要があります。</p> <p>⑥中学校道徳教科化元年を受けて、全体計画や年間計画を作成したり、研修会による授業改善を図ったりしてきました。また、飯綱町保小中高人権教育連絡協議会では、教科教育における人権教育を巡って、社会科の公開授業を公開しました。</p> <p>⑦給食日より、献立一口メモ、給食感想ノート等は、生徒、保護者、職員が、食についての関心を高める機会につながりました。</p> <p>⑧共同調理場の運営目標「安心安全なおいしい給食づくり」を実践し、食物アレルギーに対応した給食の提供を行いました。今後も継続していきます。</p>
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



【特別教科 道徳の時間】

方針 1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>1 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進</p> <p>(3) 学びの機会の確保</p>
主な事業（活動）	<p>①奨学資金貸付制度（総務教育係）</p> <p>②就学援助費、就学奨励費（総務教育係）</p> <p>③スクールソーシャルワーカーの派遣（総務教育係）</p> <p>④私塾通学者への対応（小学校）</p> <p>⑤悩みを抱えている児童への対応（小学校）</p> <p>⑥SC、SSWによる相談事業（小中学校）</p> <p>⑦学校自己評価といじめアンケート（中学校）</p>
評価	①B ②B ③B ④B ⑤A ⑥A ⑦A
成果と課題	<p>①平成 31 年度（令和元年度）は 6 件の認定を行い、制度発足 5 年間で 20 件の認定となりました。多くの方に制度を利用していただくよう、引き続き制度の周知を行っていきます。</p> <p>②経済的理由などからや特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者に、学用品などの費用を援助していますが、特に新入学児童生徒学用品購入については、入学前の 2 月に支給しています。</p> <p>③スクールソーシャルワーカーを各校に派遣し、児童・生徒の相談活動を延べ 325 時間行いました。不登校傾向にある要配慮児童・生徒については、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる支援をさらに進めるとともに、家</p>

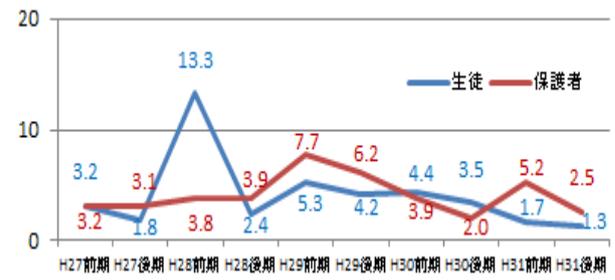
庭、学校、地域の連携を図り、個々の児童・生徒への支援を一層努めていきます。

④保護者の意向で私塾に通っていた6年生2名の卒業文集への写真掲載を行い、第2卒業式には保護者とともに参加することができました。

⑤日頃から保健室を「相談室」と位置づけ、児童・保護者に周知しています。相談に訪れる児童との会話の中から、いじめや不登校の未然防止や早期発見につながった事案が多くありました。

⑥スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーからの情報提供やアドバイス、教育支援委員会などを通して、個別に支援を必要とする児童・生徒のスクリーニング、適切な学習の機会、安心できる居場所の確保を進めることができました。

⑦「いじめは起こり得る」を前提に、年2回「学校自己評価」と「いじめアンケート調査」を実施しました。また、水曜日の午後の「裁量」を教育相談にあて、いじめを未然に防ぐよう学校全体で取り組みました。



学校評価アンケートにおいて「いじめを受けている」という回答がわずかながらあります。それらの主な内容は、言葉でのからかいが中心となっています。また、SNS等を介した中傷も見受けられます。今後も、個々の生徒との個別懇談を丁寧に行うとともに、授業や休み時間での生徒たちの言動に注意しています。さらに、教師自身も生徒に対する言動に一層注意していきます。

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう 1 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 (4) 保小中の連携による交流学习
主な事業(活動)	①小小連携(小学校) ②小中連携(小中学校) ③小高連携(小学校) ④小中高連携(中学校)
評価	①A ②A ③A ④A
成果と課題	①町内2校の小学6年生が、合同音楽会を通して交流することができました。同じ曲を歌い合ったことで、より深い交流ができました。 ②6年生が、中学校入学に向けて体験授業を行い、中学校の雰囲気を体感することができました。 ③北部高校の生徒と4・5年生が、書道(習字)を通して交流しました。普段とは異なる雰囲気の中で、異年齢の人とコミュニケーションをとるきっかけとなりました。 また、北部高校創立110周年記念事業で予定されていた書道パフォーマンスに参加予定でしたが、台風19号被害により中止となりました。しかし、後日、5年生児童2名が参加し作品を一緒に創り上げることができました。



	<p>④町学校職員会の中で、学力向上、生徒指導、情報教育、ふるさと教育等の委員会を組織し、情報共有等を進めています。また、飯綱町学習指導研究会を開催し、小中9年間を見返した教育課程の作成の一助としています。さらに、北部高等学校との交流会を実施し、中高連携教育の推進も図るようにしています。</p> <p>この他にも、一昨年度より、中学校生徒会と小学校児童会が連携し、あいさつ運動を実施したり、中学校生徒会と北部高校生徒会は毎年12月に牟礼駅をクリスマスイルミネーションの装飾をしています。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進																																																		
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう 1 確かな学力を身につけ、豊かな心と健やかな体を育む教育の推進 (5) 教職員の資質能力向上と働き方改革																																																		
主な事業(活動)	①校内研修の実施(小学校) ②子どもと向き合う時間の確保(小学校) ③校内研修の実施(中学校)																																																		
評価	①A ②B ③A																																																		
成果と課題	<p>①非違行為防止のため、職員会議で様々な事例から、話し合いや熟議などの研修を行い、非違行為防止への強い気持ちを持つことができました。</p> <p>また、全国学力・学習状況調査やNRTの分析、児童理解の研修を継続して行い、一人ひとりを大切に授業、居場所のある学級集団づくりを目指しました。結果、子どもが不登校や集団不適応の解消や早期発見につながりました。</p> <p>②質の高い授業を作り出す教材研修や子どもたちとじっくり話したり、関わったりする時間がなかなか作りだせませんでした。また、職員の多忙感を解消する課題が残りました。</p> <p>③現代的な教育課題に応じた研修と教職員の資質向上を目指して、計8回の校内研修会を実施しました。また、「非違行為根絶ミニ研修」を職員会議や学年会の折に定期的実施しました。</p> <p>勤務時間外等調査では、1ヶ月の時間外勤務1人あたり『33時間46分』を達成し、県教委が示す目標値「45時間」を大きくクリアーしています。</p>																																																		
	<table border="1"> <caption>【県教委「教職員の時間外等調査」(H28～)結果】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>月</th> <th>勤務日時間外勤務</th> <th>休日勤務時間</th> <th>持ち帰り仕時間</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">H28</td> <td>5月</td> <td>61.62</td> <td>6.12</td> <td>3.03</td> <td>70.77</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>50.88</td> <td>8.88</td> <td>3.78</td> <td>63.54</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H29</td> <td>5月</td> <td>54.45</td> <td>13.05</td> <td>4.13</td> <td>71.63</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>41.52</td> <td>8.18</td> <td>6.12</td> <td>55.82</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">H30</td> <td>5月</td> <td>42.48</td> <td>6.33</td> <td>3.17</td> <td>51.98</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>35.75</td> <td>3.26</td> <td>3.28</td> <td>42.29</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R元</td> <td>5月</td> <td>42.18</td> <td>4.70</td> <td>0.42</td> <td>47.30</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>32.08</td> <td>1.27</td> <td>0.42</td> <td>33.77</td> </tr> </tbody> </table>	年度	月	勤務日時間外勤務	休日勤務時間	持ち帰り仕時間	合計	H28	5月	61.62	6.12	3.03	70.77	12月	50.88	8.88	3.78	63.54	H29	5月	54.45	13.05	4.13	71.63	12月	41.52	8.18	6.12	55.82	H30	5月	42.48	6.33	3.17	51.98	12月	35.75	3.26	3.28	42.29	R元	5月	42.18	4.70	0.42	47.30	12月	32.08	1.27	0.42	33.77
年度	月	勤務日時間外勤務	休日勤務時間	持ち帰り仕時間	合計																																														
H28	5月	61.62	6.12	3.03	70.77																																														
	12月	50.88	8.88	3.78	63.54																																														
H29	5月	54.45	13.05	4.13	71.63																																														
	12月	41.52	8.18	6.12	55.82																																														
H30	5月	42.48	6.33	3.17	51.98																																														
	12月	35.75	3.26	3.28	42.29																																														
R元	5月	42.18	4.70	0.42	47.30																																														
	12月	32.08	1.27	0.42	33.77																																														

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう 2 グローバル化社会への対応 (1) ICTを活用した学習の推進

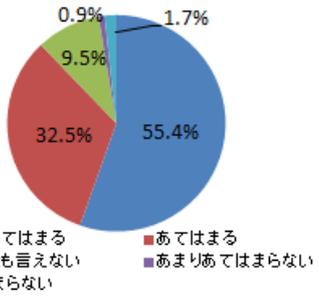
<p>主な事業（活動）</p>	<p>①教育用パソコン・タブレットのリース（総務教育係） ・小学校 パソコン 65 台 タブレット 24 台 中学校 パソコン 35 台 タブレット 22 台 中学校課外学習用タブレットの購入 10 台 ②タブレットの導入と利用（小学校） ③ICT を活用した授業（小学校） ④スクールGIGA構想に向けた取り組み（中学校）</p>																																								
<p>評価</p>	<p>①B ②B ③C ④B</p>																																								
<p>成果と課題</p>	<p>①国が進める GIGA スクール構想に基づき、町内全小中学校に WiFi 環境と児童・生徒一人 1 台のタブレットの整備を進めていく必要があります。また、ICT 教育の強化のために、専門の ICT 支援員の配置が必要となっています。</p> <p>②タブレットが 12 台導入され、クラスで使用するとき 2 人で 1 台を利用することができました。学級での利用は、稲の出穂の様子を動画で見たり、社会科の地域学習では、キーワードから検索したりするなど、調べ学習を中心に活用することができました。学年によって使い方に差があるので、改善を図っていきます。</p> <p>③職員のスキルや通信環境が十分でなく、WiFi 環境、タブレット数の確保、職員のスキルアップなど課題は多くあります。</p> <p>④タブレットなどの ICT 機器を活用した教科学習について、数学科、音楽科、保健体育科が中心となって研究を進めました。なお、スクール GIGA 構想の実現に向けてさらなる ICT 環境の整備が喫緊の課題となっています。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="459 1189 919 1263" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>1・2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか</p> </div> <div data-bbox="986 1189 1445 1263" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいとおもいますか</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="427 1294 919 1541"> <table border="1"> <caption>1・2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>ほぼ毎日</th> <th>週1回以上</th> <th>月1回以上</th> <th>月1回未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>12.3</td> <td>17.3</td> <td>40.7</td> <td>39.5</td> </tr> <tr> <td>長野県</td> <td>5.1</td> <td>19.7</td> <td>37.4</td> <td>37.7</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>7.0</td> <td>23.6</td> <td>33.1</td> <td>36.1</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="938 1294 1430 1541"> <table border="1"> <caption>授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいとおもいますか</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>あてはまる</th> <th>どちらかと言えば当てはまる</th> <th>どちらかと言えば当てはまらない</th> <th>当てはまらない</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本校</td> <td>27.2</td> <td>48.1</td> <td>21.0</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>長野県</td> <td>47.2</td> <td>31.4</td> <td>13.9</td> <td>7.3</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>48.0</td> <td>30.3</td> <td>12.8</td> <td>8.6</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">【「H31 全国学力・学習状況調査」 生徒質問紙における ICT 等の活用に関わる結果】</p>	項目	ほぼ毎日	週1回以上	月1回以上	月1回未満	本校	12.3	17.3	40.7	39.5	長野県	5.1	19.7	37.4	37.7	全国	7.0	23.6	33.1	36.1	項目	あてはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない	本校	27.2	48.1	21.0	3.7	長野県	47.2	31.4	13.9	7.3	全国	48.0	30.3	12.8	8.6
項目	ほぼ毎日	週1回以上	月1回以上	月1回未満																																					
本校	12.3	17.3	40.7	39.5																																					
長野県	5.1	19.7	37.4	37.7																																					
全国	7.0	23.6	33.1	36.1																																					
項目	あてはまる	どちらかと言えば当てはまる	どちらかと言えば当てはまらない	当てはまらない																																					
本校	27.2	48.1	21.0	3.7																																					
長野県	47.2	31.4	13.9	7.3																																					
全国	48.0	30.3	12.8	8.6																																					

<p>方針 1</p>	<p>個性を生かし共に学び合う学校教育の推進</p>
<p>目標</p>	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう 2 グローバル化社会への対応 (2) 次期学習指導要領への的確な対応</p>
<p>主な事業（活動）</p>	<p>①小学校への町費外国語支援講師の派遣。（総務教育係） ②新学習指導要領の的確な対応（小学校） ③学級担任による英語、外国語活動授業（小学校） ④新学習指導要領の的確な対応（中学校）</p>

評価	①B ②A ③B ④A
成果と課題	<p>①外国語活動、外国語の授業を充実させるために、町費で外国語支援講師を配置し小学校2校のサポートを行いました。また、ALTを1名配置し、小中学校の外国語授業のサポートを行いました。小学校3、4年生は年間35時間の外国語活動、5、6年生は年間70時間の外国語の授業を実施しました。今後は、児童や学級担任の外国語授業を補うため、英語専科の確保等充実を図っていきます。</p> <p>②外国語活動、外国語では、担任やALTの指導場面を互いに見合い、職員の指導力を向上させました。</p> <p>③ALTとの打ち合わせ等の時間がとれずにどのように連携を図るかが課題となっています。</p> <p>④全国学力・学習状況調査における生徒質問紙から見てきた課題をもとに、各教科の「見方・考え方」を働かせた、質の高い関わり合いのある授業を通して、思考力、判断力、表現力の育成を願い、全教科で公開授業を実施しました。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりする活動が充実している。 ・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む生徒が多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや考察を周りの人に説明したり、発表したりする活動が少ない。 ・自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立て等を工夫して発表させる必要がある。



方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>3 ふるさとを愛する心が育つ教育の推進</p> <p>(1) 地域とともに学びを深める</p>
主な事業(活動)	<p>①教育ファーム事業(総務教育係)</p> <p>②郷土料理(小学校)</p> <p>③茶道学習(小学校)</p> <p>④ふるさと学習(小学校)</p> <p>⑤総合的な学習(中学校)</p>
評価	①B ②A ③A ④A ⑤A
成果と課題	<p>①教育ファーム事業により農業体験や食体験等の体験学習に各種団体や地域住民等が積極的に関り、「協働」の機運を高めることができました。支援回数は延べ97回で、地域の自然や農業体験を通して児童の郷土愛を育むことができました。</p> <p>②だんごの会の皆様に協力していただき、おやき・田植え料理などを教えていただきました。また、みそ作り、天地返しなど、普段できないことも体験することができました。</p>

	<p>③校地内にある茶室を使い、不言会の皆さんにご指導いただきながら、全校児童が茶道を通して「和敬静寂」の精神に触れ、先人達の考えや想いを巡らせ、思いやりの心や人を敬う心が育ってきています。</p> <p>④様々な教科、特別活動で地域素材を取り上げたり、地域講師を招いた授業が展開されたりするなど、「おらほの学校応援団」には多大な支援をいただいています。</p> <p>⑤りんご学習（1年）、職場体験学習（2年）、中学生議会～町への施策提言～（3年）を総合的な学習の題材に据えて、地域の“ひと”“もの”“こと”から学ぶなかで、主体的に飯綱町の良さや課題を追究する姿が見られました。</p> <p>また、“地域に学ぶ”を目的に、全校生徒が町内34ヶ所のいきいきサロンに向き、地域の方々と交流を図りました。</p> <p>さらに台風19号により被災した近隣の学校に義援金を贈ろうと生徒会がアルミ缶収集を行ったように、身近な地域への関心が高まっています。</p>	 <p>■とてもあてはまる 55.4% ■あてはまる 32.5% ■どちらとも言えない 9.5% ■あてはまらない 0.9%</p>	<p>【後期学校評価（生徒）】 「総合的な学習時間」は地域を見つめなおす学習になったか。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進	
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう 3 ふるさとを愛する心が育つ教育の推進 (2) いいづなワクワク教育プロジェクトの推進	
主な事業（活動）	①町内3小中学校を結ぶ遠隔システムの導入（総務教育係） ②英語学習の充実のためのデジタル教科書の導入（総務教育係） ③起業体験学習プログラム（中学校）	
評価	①B ②B ③A	
成果と課題	<p>①3校をオンラインで結ぶことや家庭学習（遠隔授業）に対応できるシステムの導入を図るなど、多様化する授業形態等に対応できる下地ができました。今後は、郷土の良さを自覚できるよう、他の部署との協働による整備を進めるとともに、課外学習が推進できる仕組みづくりを進めていく必要があります。</p> <p>②英語学習の充実を図るため、デジタル教科書を導入しました。</p> <p>③美術クラブ、家庭科クラブを中心に起業体験学習プログラム（3年目）を実施し、町が主催する「飯綱町iママフェスタ」に模擬店を出店することができました。</p>	

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進	
目標	生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう 4 学校・家庭・地域の連携と協働の推進 (1) 飯綱町コミュニティスクールの拡大と推進	
主な事業（活動）	①飯綱町コミュニティスクールの実施。各校4回。（総務教育係） ②飯綱町コミュニティスクール運営委員会の取り組み（小学校）	

	③おらほの学校応援団の拡充（中学校）
評価	①B ②A ③A
成果と課題	<p>①地域住民における学校支援としての飯綱町コミュニティスクール事業を実施しました。その中で、地域住民との協働事業として、「おらほの学校応援団」を組織し、農体験や郷土料理学習などの支援を行いました。今後も、学校と地域を結びつけることで、学校運営がスムーズに進むよう、支援体制を充実していきます。</p> <p>②学校が地域コミュニティの場を果たすとともに、各校のCSや学習指導研究会へ参加するなど、地域を代表する方とともに学校や子どもを語るの機会は、ますます重要になっています。</p> <p>③従前の「読み聞かせ」等の他に、「特別支援学級の野菜作り」「3年生の放課後学習」「奉仕委員会の花壇づくり」等、おらほの学校応援団の拡充を図りました。</p>



【見守り隊の皆さんと登校】

方針1	個性を生かし共に学び合う学校教育の推進
目標	<p>生きる力を育み、ふるさとを愛し、人を思いやる子どもを育てよう</p> <p>4 学校・家庭・地域の連携と協働の推進</p> <p>(2) 家庭・地域とともに取り組む学びの推進</p>
主な事業（活動）	<p>①健康づくり週間（小学校）</p> <p>②お弁当の日（小学校）</p> <p>③家庭学習の手引きの活用（小学校）</p> <p>④健康づくり週間、お弁当の日、ノーメディアデーの取り組み（小学校）</p> <p>⑤家庭学習支援（小学校）</p> <p>⑥ノーメディアデーの実施（生涯学習係）</p> <p>⑦健康づくり週間、手作り弁当の日、ノーメディアデーの取り組み（中学校）</p>
評価	①A ②A ③B ④B ⑤B ⑥B ⑦A
成果と課題	<p>①家庭に協力を呼びかけ、睡眠時間、食事の内容、運動の時間、メディアの利用等、自分の生活の見直しを行いました。各家庭も生活を見直すきっかけになりました。</p> <p>②手づくりお弁当の日においては、学年に応じた目標を決め、お弁当作りを行いました。家族への感謝の気持ちを強く持つとともに、食に関する興味関心が高まりました。</p> <p>③年度当初の参観日の保護者懇談会で「家庭学習の手引き」を説明しました。年間通して手引きに沿った家庭学習を出すことができました。</p> <p>④健康づくり週間は町全体の取り組みとして、学校と家庭が連携・協力して取り組んでいます。ただ、これらの取り組みがきっかけとなり、生活習慣につながるまでには至っていません。</p> <p>⑤家庭学習のガイドラインは参考資料として有効でした。ただ、家庭学習の習慣づくり、内容の工夫、授業とのつながりなど課題は多くあります。</p> <p>⑥メディアとの上手な付き合い方を考えるきっかけとなるよう、年3回（6月26日（水）、10月17日（木）、2月17日（月））ノーメディアデーを実施しました。保育園・小学校向けチャレンジチラシ、中学生向けチラシを作成・配付し、</p>

	<p>啓発を図りました。今後は子育て世代の保護者及び祖父母世代など、幅広い世代の皆さんに周知を図り、この取り組みを推進していきます。</p> <p>⑦「健康づくり週間」「手づくり弁当の日」「ノーメディアデー」等を実施する際は、家庭への啓発の良い機会と捉え、通知等を配付し、目的と方法の明確化を図りました。</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	<p>豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう</p> <p>1 子どもが生き生きと育つ環境づくり</p> <p>(1) 出産から乳幼児期にかけての環境づくり</p>
主な事業(活動)	<p>①出産の産後ケアから乳幼児期にかけての子どもと母親の心身の健康に伴うきめ細かなケアと相談体制の推進(子育て支援係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診(1歳児半・3歳児)後の保健師によるフォロー支援と、個々の発達、発育段階に応じた助言と相談の実施しました。 ・専門的支援を必要とする子ども・保護者を早期に把握し、迅速に関係機関と連携しました。 ・乳幼児の健やかな成長に不可欠な健康、心理、食育、音楽等をテーマとした子育て講座を長野県立大学健康発達学部と連携して開催しました。 ・子育て支援アプリ「すこやか・いづなナビ」による子育て情報の発信強化に努めました。 <p>②子育て応援祝い事業(子育て支援係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに子どもが生まれた家庭に祝い金を支給しました。 (第1子5万円、第2子7万円、第3子以降20万円) ・新たに子どもが生まれた家庭に記念品を支給しました。 (町内企業13社による誕生記念品カタログ 30品掲載)
評価	①A ②A
成果と課題	<p>①発達障がい兆候や親の子育て力の低下を見逃さぬよう、発育過程や心身の状態把握に努めることができました。今後も引き続き、個々の家庭の事情や、子どもを取り巻く環境に応じた支援に努めていきます。</p> <p>②誕生記念品カタログは町内企業の個性豊かな商品で構成し好評です。また、子育て世代に町内企業を紹介する産業振興の側面性があります。今後も参画事業者の拡大に努め、保護者の要望を取り入れたカタログの作成に努めていきます。</p> <p>一方で、財源となる子育て応援基金の将来を見据えた運用や今後の誕生祝い金の増額等に関して、子ども・子育て応援会議の意見を踏まえて検討します。</p>



方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	<p>豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう</p> <p>1 子どもが生き生きと育つ環境づくり</p> <p>(2) 未満児保育や障がい児保育の充実</p>
主な事業(活動)	<p>①未満児・障がい児保育への加配保育士等配置(保育園)</p> <p>②はぐくみサポート事業等の実施(保育園)</p>
評価	①B ②B

成果と課題	<p>①3歳未満児については、令和元年度3園で68名を受入れました。また、障がい児保育については、加配保育士や補助保育士を配置し支援を行ってきました。それぞれの子どもの発達過程や心身の状態を把握し理解しながら、障がい児が他の子どもとの関わりの中で共に成長できるよう保育することができました。近年、障がい児と診断された幼児以外にも配慮の必要な子どもが増えつつあり、さらなる加配が必要なケースが増加してきていることから、未満児や障がい児保育では、保育士の確保が困難で課題となっています。</p> <p>②はぐくみサポート事業では、専門家に園訪問を行っていただき、子どもの成長についてアドバイスをいただいています。また、5歳児相談事業では保護者の相談の場を設けて、就学に向けての準備と、園での過ごし方について、専門家からアドバイスをいただいています。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	<p>豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう</p> <p>1 子どもが生き生きと育つ環境づくり</p> <p>(3) 子どもが読書に親しむ環境づくりの推進</p>
主な事業(活動)	①4ヶ月、3歳児、6歳(入学前)幼児への図書(生涯学習係)
評価	①B
成果と課題	①それぞれの発達時期に合わせた絵本を贈呈するなど、今年度も計画通り実施できました。今後もノーメディアデーなどの機会を捉えて、子どもたちが本と親しむきっかけづくりに努めていきます。

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	<p>豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう</p> <p>1 子どもが生き生きと育つ環境づくり</p> <p>(4) 放課後児童クラブの運営</p>
主な事業(活動)	①5つの児童クラブの運営(こども保育係)
評価	①B
成果と課題	<p>①5カ所の児童クラブで延べ29,003名の子どもを受入れました。</p> <p>指導員の確保が課題となっているほか、危機管理体制の構築が必要となっている中、今年度は危機管理マニュアルを作成するとともに、指導員を対象としたAEDの講習会を実施しました。また、年度末には、新型コロナウイルス感染症感染防止により学校が臨時休業となり、急きょ、5カ所の児童クラブを終日開所することになりましたが、指導員の協力を得て安全に運営しました。密にならないよう児童を分散させるため、学校の施設を開放していただくとともに、学校職員の協力を得ながら運営しました。</p>

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	<p>豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう</p> <p>1 子どもが生き生きと育つ環境づくり</p> <p>(5) 児童虐待の未然防止と早期対応</p>
主な事業(活動)	<p>①関係機関等との連携による未然防止と早期対応(子育て支援係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健師による新生児訪問及び乳幼児健診、教室等での児童虐待防止啓発と、広報による定期的な児童虐待防止の啓発 ・要保護児童地域対策協議会における実務者間の情報共有 ・児童相談所と定期的な情報交換

評価	①A																								
成果と課題	<p>①実務者会議で全てのケースの情報（支援の経過や問題点等）を共有しています。なお、児童虐待は家庭が抱える複合的な要因のため、終結に至るまでには長期間を要しますが、長期的な見守りを続けるとともに、不幸の事態に至らぬよう、早期段階から児童相談所と連携し対応しています。</p> <table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th></th> <th>対応件数</th> <th>継続件数</th> <th>終結件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H27</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R元</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		対応件数	継続件数	終結件数	H27	5	5	0	H28	5	5	0	H29	12	10	2	H30	13	9	4	R元	10	10	0
	対応件数	継続件数	終結件数																						
H27	5	5	0																						
H28	5	5	0																						
H29	12	10	2																						
H30	13	9	4																						
R元	10	10	0																						

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	<p>豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう</p> <p>2 楽しく子どもを育てられる環境づくり</p> <p>(1) 子育て支援センター事業の充実</p>
主な事業（活動）	<p>①子育て支援センターの建設検討と子育て教育支援プログラム等支援事業の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県立大学教授が参画した子育て世代支援施設建設検討委員会による、新しい子育て支援施設の設計案の決定と、先進地における教育支援プログラムの研究と素案作り（子育て支援係） ・新しい子育て支援施設で実施する包括的支援及び母子保健事業の連携に向け、保健福祉課（健康推進係）と横断的な検討を開始 ・飯綱中学校空き教室を利用した「出張子育て支援センター」の実施 ・鳥居川消防署、長野県立大学生と連携したイクメンイベントの開催
評価	①A
成果と課題	<p>①現在の子育て支援センター、ワークセンターの各機能に加え、母子保健機能（乳幼児健診及び各種教室等の実施）を併せ持つことにより、利用対象者が大幅に拡大し、各種支援施策の展開・浸透が可能となりました。子育て・仕事・相談・交流等のイノベーションが期待されます。</p> <p>また、新しい子育て支援施設の開設に向け、新しい施設機能が十分に発揮されるよう、従来のイベントや行事、プログラムや支援の内容等を再検討し、親子が安心して過ごせ、より楽しく子どもと関われる子育ての支援拠点としての運営を目指します。</p> 

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	<p>豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう</p> <p>2 楽しく子どもを育てられる環境づくり</p> <p>(2) ファミリーサポートセンター事業の充実</p>
主な事業（活動）	<p>①事業周知と提供会員の勧誘（子育て支援係）</p> <p>②依頼会員と提供会員とのマッチング（子育て支援係）</p>
評価	①B ②B
成果と課題	<p>①②提供会員の高齢化やライフスタイルの変化などにより、会員確保が困難になってきています。子どもの預かりのニーズはあるものの、会員宅での託児となるため敬遠される傾向があります。新しい子育て支援施設においては、託児ができる本事業の拠点施設とし、会員相互のマッチングを強化します。</p>

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう 3 子育てをしている女性への支援 (1) 子育て世代の就労支援（ワークセンター）の充実
主な事業（活動）	①就労、起業相談と各種スキルアップセミナーの開催（子育て支援係） ②専門スタッフによる託児業務（子育て支援係） ③在宅ワークを活用した多様な働き方の推進と定期イベント（i ママフェスタ、お仕事マッチング）の開催（子育て支援係）
評価	①A ②A ③A
成果と課題	①②③セミナーを受講した利用者がグループをつくり、テープ起こしやリアルタイム字幕の作成を請け負う会社を起ち上げ、自立した活動を展開しています。 新しい子育て支援施設においても、新たな働き方の選択肢が広げられるよう、個々のニーズに応じたスキルアップセミナーを検討します。 また、より自分らしい働き方を見つけていたため、ワークセンターにおける就労支援のみを受けるのではなく、(株)カンマッセいいづなが運営するいいづなコネクト・ウェスト（旧第二小「仕事の創業と学びの拠点」）と連携した横展開が図られる施策の検討が必要になります。

		利用延べ人数
相談室	企業	36
	求職者	49
ワークスペース		1,018
託児スペース		776

方針2	子育て・子育て環境の充実
目標	豊かな自然の中で、子どもたちの成長をみんなで支え合おう 3 子育てをしている女性への支援 (2) 病後児保育事業による子育て支援の充実
主な事業（活動）	①「病後児保育室はぐくみ」による就園前乳幼児の病後児保育事業の運営（子育て支援係）
評価	①B
成果と課題	①長野地域連携中枢都市圏の利用施設として、町外児登録など近隣市町村と連携しました。また、保護者の急な利用申し込みに対応するよう努めていきます。

	登録申込児数	予約日数	利用日数	利用児数
H29	45人	4日	2日	実1人・延2人
H30	19人	7日	6日	実5人・延8人
R元	23人	5日	5日	実4人・延5人

方針3	スポーツ・芸術・文化活動の充実
目標	健全な心と体を育てよう 1 多様な活動機会の創出 (1) 住民がスポーツ活動や芸術文化活動に触れられる環境づくり
主な事業（活動）	①部活動における信濃小中学校との連携（中学校・生涯学習係）
評価	①B

<p>成果と課題</p>	<p>①平成 29 年度より北部広域・鳥居川水系中学部活動検討委員会を設置し、中学校の部活動のあり方について、合同部活動をはじめとする諸問題について検討してきました。昨年度に引き続き飯綱中学校と信濃小中学校の合同チームがいくつもの部活動で編成され、大会等に参加しました。少子化、スポーツの多様化により、近隣や町スポーツ協会等の連携活動が喫緊の課題となっていますが、今後も引き続き地域のスポーツ文化を絶やさぬ努力と指導者の育成が必要となっています。</p>	
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

<p>方針 3</p>	<p>スポーツ・芸術・文化活動の充実</p>	
<p>目標</p>	<p>健全な心と体を育てよう 1 多様な活動機会の創出 (2) 地域団体が企画運営するスポーツ・芸術文化活動への支援</p>	
<p>主な事業（活動）</p>	<p>①スポーツ協会教室運営等及び文化活動への補助（生涯学習係）</p>	
<p>評価</p>	<p>①B</p>	
<p>成果と課題</p>	<p>①町スポーツ協会及びいろいろなスポーツクラブ等の団体に対し、事業運営や大会等への補助支援を行っています。また、文化活動には、町文化協会の舞台や展示発表等の活動支援、その他芸術文化団体への支援を行っています。今後も、スポーツ・芸術文化団体への支援を行い、町のスポーツ・芸術文化活動の充実を図っていきます。</p>	

<p>方針 3</p>	<p>スポーツ・芸術・文化活動の充実</p>	
<p>目標</p>	<p>健全な心と体を育てよう 1 多様な活動機会の創出 (3) スポーツ施設の充実</p>	
<p>主な事業（活動）</p>	<p>①各種大会等における社会体育施設及び学校施設の開放（生涯学習係）</p>	
<p>評価</p>	<p>①B</p>	
<p>成果と課題</p>	<p>①町の社会体育施設、及び学校施設を開放し、町民がスポーツに触れる機会を提供していきます。老朽化に伴う施設の修繕等を実施し利用者に不便をかけることなく安全に利用してもらうように心がけています。今後も町民が使いやすいよう施設の維持管理を行いながらスポーツ活動の拠点として利用できるように努めていきます。</p>	

<p>方針 3</p>	<p>スポーツ・芸術・文化活動の充実</p>	
<p>目標</p>	<p>健全な心と体を育てよう 2 文化の保存・継承・活用 (1) 食文化への理解</p>	
<p>主な事業（活動）</p>	<p>①関係機関と連携した食育推進連携事業（生涯学習係） ②旬の地域食材を用いた地産地消の推進（学校給食係）</p>	
<p>評価</p>	<p>①B ②A</p>	

<p>成果と課題</p>	<p>①食育推進連携は計画通りに実施し、町独自の文化としての食育活動を進めることができました。子どもたちへの食育活動として、いっぴなっ子クラブの調理クラブでは郷土料理や伝統食の調理を行っています。今後も継続した活動を行っていきます。</p> <p>②JAや直売所を通じて、旬の地域食材をできる限り使用した生産者の顔が見える給食の提供に努めています。</p> <p>今後も旬の地域食材を積極的に取り入れることで、食育の充実に努めていきます。</p> <p>【主な町内産 100%食材】 飯綱米、アスパラガス、ズッキーニ、さくらんぼ、梨、ブルーベリー、りんご、しめじ、味噌</p>	
--------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

<p>方針3</p>	<p>スポーツ・芸術・文化活動の充実</p>	
<p>目標</p>	<p>健全な心と体を育てよう 2 文化の保存・継承・活用 (2) 文化財の保存、継承、活用</p>	
<p>主な事業(活動)</p>	<p>①文化財の調査、指定、保護、活用及び歴史ふれあい館の展示、調査、教育普及などの充実(生涯学習係)</p>	
<p>評価</p>	<p>①B</p>	
<p>成果と課題</p>	<p>①平成30年度から継続して行ってきた苔翁寺山門・仁王像の大規模修繕工事が完了したので、これを機に文化財保護意識の啓発に努めていきます。また、歴史ふれあい館の機能充実に図るため、協議会を開催し、外部識者の助言をいただきながら利用者の促進等について検討を重ねています。</p>	

<p>方針3</p>	<p>スポーツ・芸術・文化活動の充実</p>	
<p>目標</p>	<p>健全な心と体を育てよう 2 文化の保存・継承・活用 (3) ふるさとを愛する心の育成</p>	
<p>主な事業(活動)</p>	<p>①出前講座、体験学習支援、講師派遣等(生涯学習係)</p>	
<p>評価</p>	<p>①A</p>	
<p>成果と課題</p>	<p>①年間を通じて町内の各種団体等の講師派遣依頼や学校における学習支援依頼に応え、地域の自然・歴史・文化に関する講演・学習支援等を行い、ふるさとを愛する心の育成に努めました。</p>	

<p>方針4</p>	<p>自ら学び、共に学び、自己を高める</p>	
<p>目標</p>	<p>学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう 1 多様な学習機会の創出 (1) 生涯学習の充実</p>	
<p>主な事業(活動)</p>	<p>①いっぴな大学・いっぴな教室等の開催(生涯学習係) ②中学校講堂開放、及び講座の実施(生涯学習係)</p>	
<p>評価</p>	<p>①B ②B</p>	

成果と課題	<p>①いづな大学では、12 講座を開設し学生数 46 名で 1 年間開催しました。多岐にわたる講座内容は、生涯学習における学びの場の提供の一役を担っており、学生数は年々増加をしています。また、いづな教室は、18 教室開設し 270 名が受講しました。毎年継続して受講する者も多く、こちらも受講生は増加しています。今後は、受講生の中から教室の講師が育成され、自立したサークル活動ができる運営を考えていきます。</p> <p>②中学校講堂の開放については、出初式、成人式、講座等町主催行事において積極的に利用促進を図っています。また文化協会のイベント等文化活動団体への PR によりここ数年利用が増えてきています。</p>
-------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



方針 4	自ら学び、共に学び、自己を高める
目標	学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう 1 多様な学習機会の創出 (2) 生涯学習の成果を生かす機会の実現
主な事業 (活動)	①いづな教室受講者等による発表 (生涯学習係)
評価	① B
成果と課題	①いづな教室では、舞台や展示発表の場を設け、受講生の学習意欲を高めています。また、町文化協会まつりで教室での成果を発表するとともに町文化協会の発表を見ることも一つの刺激となり、さらなる学習意欲の向上につながっています。

方針 4	自ら学び、共に学び、自己を高める
目標	学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう 1 多様な学習機会の創出 (3) 町内図書館の機能充実
主な事業 (活動)	①図書館機能の連携 (生涯学習係)
評価	① B
成果と課題	①公民館図書室と中学校図書館の連携により、どちらの施設でも図書の貸し借りができることから、利用者も増えています。特に新刊図書の案内などにより学生の利用者が増えており、学習活動にも利用されています。今後も企画本の配置などに工夫を凝らすとともに、長野県立図書館との連携も深め、利用者の拡充を図っていきます。

方針 4	自ら学び、共に学び、自己を高める
目標	学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう 2 生涯学習拠点の充実 (1) 公民館活動の活性化
主な事業 (活動)	①分館活動を支援する活動費補助 (生涯学習係)
評価	① B

成果と課題	①町内 27 分館の活動支援として補助金を交付しています。それぞれの分館の創意と工夫から、気軽に話し合えるコミュニケーションの場づくりに努めていただいています。しかし、少子高齢化の進展により、特に本館事業での人（選手）集めの負担が増しており、今後分館との活動について意見交換を行うなど、分館活動の運営サポートのあり方について検討が必要になっています。
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

方針 4	自ら学び、共に学び、自己を高める
目標	学ぶ楽しさを分かち合い、夢を持ち活動の輪を広げよう 2 生涯学習拠点の充実 (2) 地域学習の充実
主な事業（活動）	①出前講座の実施（生涯学習係）
評価	① B
成果と課題	①分館等への出前講座が、大変好評となっていますので、今後も新たなメニューを検討しながら、分館での学習に役立てられるよう継続して実施していきます。



令和元年度(平成31年度)飯綱町教育委員会点検・評価に関する 学識経験者の知見について

寺島 政次 氏(前飯綱町教育委員会 教育長)

方針1 個性を生かし共に学び合う学校教育の推進

小学校統合2年目となり、統合後の新しい体制が軌道に乗ってきていると感じます。校長先生はじめ先生方また関係する方々に感謝します。

確かな学力に関しては、小学校においては授業の3観点(ねらい、めりはり、みとどけ)を明確にしたり、週日課に帯でドリルの時間を位置づけたりして基礎学力の定着に取り組んでられました。中学校においては「表現力の向上」を全校研究テーマに据え、自分なりの根拠を示して話をする力を指導されてきました。

また、豊かな心を育てるために、気持ちよく挨拶ができる「あいさつ活動」を実施し、「あいさつ名人」の発表等を通じて意欲を高めることができたことはうれしいことです。今後も継続してほしいです。

学びの機会の確保について、スクールソーシャルワーカー(SSW)各校へ派遣し、相談活動は述べ325時間に及びました。また、不登校傾向にある児童生徒に対してはSSWやスクールカウンセラー(SC)の支援を進め、家庭、学校、地域の連携を図られていますが、今後ますます大切になるものと考えますのでこれまで以上に進めてほしいと考えます。

教職員の資質向上と働き方改革について、また非違行為防止のために事例研究を行ないながらの話し合いや熟議が行われています。今後も継続してほしい事項です。さらに、勤務時間外等調査で、1か月の時間外勤務が1人当たり『33時間46分』となり、県教委が示す目標値「45時間」を大きくクリアしました。今後も継続してほしいです。

小学校、中学校にそれぞれタブレットが導入されました。まだ1クラス分もないので、1クラス1人1台を目指し早急に整備をお願いしたいところです。また、指導する先生はじめ職員のスキルアップも同時に進めてほしいと思います。

昨年度発足した「飯綱町コミュニティスクール」の中の「おらほの学校応援団」を十分活用する中で、子供たちの農と食の体験を通して郷土を愛する心を育むと同時に、学校と地域を結び学校運営がスムーズに進むようなお一層努力してほしいと思います。

方針2 子育て・子育て環境の充実

子どもが生き生きと育つ環境づくりとしては、出産の産後ケアから乳幼児期にかけての子どもと母親へのきめ細かなケアがいちばん大切です。長野県立大学健康発達学部と連携しての子育て講座の継続もお願いしたいところです。未満児保育も今年度3園で68名受け入れたとのこと、今後ますます多くなってくるものと思われます。また、障がい児保育の充実と合わせて保育士の確保が大変かと思いますが、子供たちのために健闘されることを望みます。

3 学期に入ってからの子童クラブについては、新型コロナウイルスの影響により、学校が休校となったことにより急遽終日開設されるなど大変だったと思いますが、指導員や学校職員の協力のもと安全に運営されたことに感謝します。今後も同様の事態が考えられますので安全に運営されることを望みます。

子育て支援センターの建設検討が長野県立大学の先生が参画され設計案が決定されました。現在の子育て支援センターやワークセンター機能に加え、母子保健機能を併せ持つ施設になりました。このような機能については以前から要望もあったように思われます。早い施設の完成を望むと同時に、施設の機能が十分に発揮できるような運営方法について今から検討をお願いしたいと思います。

3 年目に入ったワークセンターについては、軌道に乗りつつあるように思われます。今後も新たな働き方の選択肢が広がるよう継続してほしいところです。

方針3 スポーツ・芸術・文化活動の充実

中学校の部活動について、今年度も昨年度に引き続き信濃小中学校と合同チームで大会等へ参加されました。少子化やスポーツの多様化による連携活動ですが、今後も指導者の育成を含めより良い方向をお願いしたいと思います。

地元農産物の利用や食文化の理解については、子供たちに伝える大切なことですので、小学校での郷土料理体験や、いっぴな子クラブの料理教室など今後も継続して実施してほしい取り組みです。

また、文化財保護に関して、昨年度から継続して苔翁寺山門・仁王像の大規模修復事業が行われ完成しました。また町内には貴重な文化財が残っていると思われますので、発掘についても努力をお願いしたいと思います。

方針4 自ら学び、共に学び、自己を高める

生涯学習の充実については、「いっぴな大学」及び「いっぴな教室」の開講により、学びの場の提供と趣味を生かした個々の生活の充実を図ることは大切ですので今後も継続してほしいところです。

中学校の講堂の利用も増加してきているとのこと、大変うれしいことです。今後とも利用の促進をお願いしたいと思います。

公民館図書室と中学校図書室の利用が学生を中心に増加していることは大変喜ばしいことです。今後も蔵書等の内容を検討され利用者の一層の増加につながるよう努力をお願いしたいです。

公民館活動の分館活動については、地域における住民の交流や融和などで大切な役割を果たしています。分館によっては大変な面もあると思いますが、意見交換を行うなど、サポート体制も検討され一層の活動の活性化を期待します。

まとめ

今年度は、10月の台風19号による千曲川の堤防決壊による長野市豊野町や長沼地区の浸水被害、そして3学期には新型コロナウイルスによる小中高校の臨時休業など今まででは考えられないような出来事が起こりました。そのような中、校長先生をはじめ先生方や職員の方々にはいろいろな対策をしていただき感謝します。

子供たちが郷土を愛し、大人になっても郷土が誇れるような地域づくりに向けて教育委員会として何ができるのか、いろいろな機会を通して検討してほしいと思います。また、文部科学省や厚生労働省など国の各種施策も見据えた中で一層の努力をお願いしたいと思います。

